

○「集落の農地を守る集落営農組織の事例の協議」

(京都府京丹後市丹後町地区連絡会議)(平成31年度1月)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年1月10日 午後5時~6時45分
- 場 所: 京丹後市役所丹後庁舎
- 出席者: 農業委員2人
最適化推進委員4人(欠席1人)
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 竹野川両岸の水田地帯と沿岸の水田農業が中心
- 大規模経営法人と担い手農家による水田経営が展開されている
- 宇川地域で再び場整備事業がスタートして受けて法人の設立が課題

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 形状変更届の完了届未提出の農地内観する現状確認について調整
- 12月開催の農業委員さん現地研修会の参加委員より、福知山市六人部地区の農業委員会地区連の活動についての感想と紹介
- 推進委員から地元の成願寺地区の京力農場プランの進捗状況と隣接の是安地区へのプラン策定の推進について報告
- 岩木地区での京力農場プラン策定に向けて関係者の協議の状況を報告し、地元推進委員さんへの支援を依頼
- 新体制に向け、最適化推進員数の減員による担当地区の調整協議と委員候補者を地区連合区長さんへ依頼することの確認
-
-

4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援